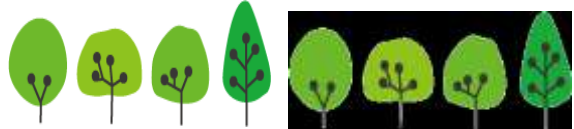


いちりん通信

No.24

リハビリマッサージって何？



マッサージって揉むこと、指圧すること、でしょ？

じゃ、リハビリマッサージって何？ 何がふつうのマッサージと違うの？

…そんなシンプルな質問を頂いたので、率直に答えてみました。

その1 リハビリマッサージは、医療行為です

まず、違う点。それは、リハビリマッサージは「医療行為」だという点です。

つまり、患者様にとっての日常生活上のゴールを見極め、それを達成させるための具体的な方法論を「西洋医学的見地」から導き出し施術する、ということです。

たとえば、脳梗塞後遺症の片麻痺の患者様に、歩行姿勢の改善を行うケース。

ここでは、麻痺している筋肉をマッサージで緩め、さらにバランスを改善するための訓練を行います。それは時に、健側（良い側）の筋力強化だったり、患側（悪い側）の脱力テクニックだったりします。

ここで大切なのは、「西洋医学的見地」から論理的に説明ができ、再現が可能だということ。これが「医療行為」の原点であると、私たちは考えています。

その2 リハビリマッサージは、「リハビリも行うマッサージ」です

もともと「リハビリテーション」という方法論が輸入される前、急性期の機能訓練はマッサージ師も担ってきました。

そうです。機能訓練という現場においては、「あなたはマッサージ師だから、マッサージだけをやって」とか「あなたは理学療法士だから、リハビリテーションだけをやって」などという住み分けはナンセンスなのです。すべては一体的に、必要に応じて必要なことを行う…それがあるべき姿であると、私たちは考えています。

私たちは「リハビリも行うマッサージ師」なのです。

その3 リハビリマッサージは、完全オーダーメイドです

私たちはベルトコンベアー式の仕事はできません。一人ひとりの患者様の状態、性格、意欲、ゴールに応じて、完全オーダーメイドで施術をつくっていきます。ここが一番の違いですね！ (F・K)

